

トンボ口

学校だより 令和6年度第五号（通巻四八七号）



自主・気魄・根性

発行
令和6年9月21日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
Tel.09969-3-2002
責任者
校長 加藤 晃一

「生活リズムを整えて大きな成果を」

校長 加藤 晃一

2学期がスタートしました。元気に登校する生徒の姿に職員一同、うれしく感じています。

夏休みの思い出を聞いてみると、県総体や離島甲子園などスポーツに一生懸命打ち込んだり、ボランティアに参加し、勤労意欲を高めたり、3年生であれば、上級学校の体験入学に参加して、希望校入学の意思を強めたりそれぞれに有意義な体験をしているようでした。また、5年ぶりに実施されたかずらたてをはじめ、夏祭りなど地域行事を楽しんだり、久しぶりに帰省した兄弟姉妹との時間や家族旅行を通して家族の絆を深めたり夏を満喫している様子もありました。8月31日には親子奉仕作業を実施しました。台風10号の影響で実施できるか不安でしたが、当日は、多くの生徒・保護者、PTA準会員の皆様、地元企業様の参加を頂き、約1時間半の環境整備ができました。改めて、里中学校は、保護者、地域の方々のおかげさまで教育活動を進めることができていると実感しました。

さて、2学期は、一年の中でも最も期間が長く、大きな行事を多く予定しています。運動会に始まり、3年に一度の修学旅行、文化祭など。一つ一つの行事を通して、さらなる成長につながってほしいと願っています。ただ、少し気になる様子もあります。顔色が優れない生徒も見られるのです。夏休みに生活リズムが崩れてしまったのではないかと心配しています。以前、先輩の先生から興味深い記事を紹介されました。脳内科医師の加藤俊徳先生が「脳を活性化させるためには、まず起床と就寝の時間は、毎日ほぼ同じにした上で、脳をしっかりと働かせて、しっかりと休ませるというメリハリのある生活が大切です。」と述べられておりました。学習と部活動、そして学校行事など文武両道を目指している生徒のみならず大変参考になる記事ではないでしょうか。適切な睡眠時間には、個人差があると思いますが、生活リズムの第一歩は、起床時間と就寝時間を決めて自らリズムを作り出すことです。

1、2年生は、生徒会や部活動において役割も大きくなります。また、3年生は、進路選択をする時期です。進路目標を明確にもち、根気強く努力を積み重ねることが大切です。生活リズムを整え、脳を活性化することが大きな成果につながると思います。

「楽しかった昔を思い返すことが脳を活性化させます。（中略）ぼくは、ふるさとの新潟の海辺の空や、家の裏山の木々や草花などのことをよく思い出します。そのとき感動したこと、楽しかったことの記憶や感情が呼び覚まされることによって脳が活性化します。」とも加藤俊徳先生は、述べられています。甕島の雄大な自然や夏休みの楽しかった思い出で脳を活性化し、2学期の学力向上や行事の成功につなげてほしいと思います。

お薦めの一冊 石原美姫先生



「日々臆測」 ヨシタケ シンスケ 作

人気絵本作家ヨシタケシンスケさんのくすつと笑えるユーモアたっぷりの「臆測力」と「観察眼」が素晴らしい。こんな視点をもてたらいいなあと思ってしまうと同時に、自分の凝り固まった頭や考え方がほぐれていく…。ほっと一息つきたいときに読みたくなる一冊です。

離島甲子園 in 壱岐

8月19日から4日間、長崎県壱岐で行われた国交大臣杯全国離島交流中学生野球大会に本校から13人の生徒が参加しました。野球を通じて「島」と「島」の交流ができ、満足した様子で大会を終えました。

★主将の山河宙夢さんの感想

今年の目標は、14人が全力で野球を楽しみ、全力で勝ちにいくことでした。1勝することはできなかったけれど、離島甲子園のおかげで野球が好きになって、高校でも野球をしたいと思いました。支えてくださった皆さん、ありがとうございました！



81日間の2学期スタート

始業式では、各学年の代表の生徒が、夏休みの反省と2学期の抱負を話しました。1年生の辻希果さんは「多くの行事がある2学期。充実した日々を過ごせるようみんなと協力して頑張りたい。」2年生の西山勇誠さんは、「2学期の多くの学校行事は、友情やチームワークを育む絶好の機会なので、精一杯取り組みたい。」3年生の大井奏芽さんは「幼小中全体の最上級生として、いい姿が見せられるように、早寝早起きをして、体調管理に気を付ける。」と堂々と決意を述べました。加藤校長は、「2学期は、勉強も行事も運動も、自分が、是非頑張りたいことを決めて頑張ってほしい。そのためには目標を立てることが大切！」と話しました。

運動会、修学旅行、文化祭と行事の多い2学期ですが、勉強も正念場を迎えます。なりたい自分になるために、目標に向かって挑戦し続ける2学期にしていきたいと思います！

7月12日「方言の大切さ」についての授業

国立国語研究所から窪菌晴夫先生をお迎えして、甕島方言教室が行われました。クイズを織り交ぜながら、甕島の方言の素晴らしさや守っていくことの大切さを話してくださいました。授業後、甕島の方言の特徴を初めて知った生徒も多く、「甕島の方言に誇りをもって、未来に残していけるように自分も伝えていきたい」と感想を述べました。



全国学力・学習状況調査の結果について

4月に中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を、ご報告します。今年の結果は、国語は、全国平均を大きく上回り、数学はわずかに下回る結果となりました。学校では、結果を十分に分析・活用して、学力向上に向けた取組を一層充実させていきたいと考えています。

【国語】 表現技法に関する知識が不足している。国語全般において指導したり、作品を作る際、既習事項を踏まえさせて取り組ませたい。また、文章の構成や表現の特徴を捉えるために、観点を設けるなど整理させたい。繰り返し論理の展開を吟味させることで、意見と根拠の結び付きや論の進め方を捉えさせたい。

【数学】 既習内容を忘れていく傾向があるので、復習の時間を確保する。また、問題文を速く、正確に読み取り、問題文の要点を把握できるようにする。

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】「学校に行くのは楽しい」「国語、数学の授業がよく分かる」と回答した生徒が多かったです。一方、「自分には良いところがある」（自己肯定感）や「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。」（自己調整力）と回答した生徒が少なかったです。自己肯定感の育成については、学校生活の様々な場面で、生徒同士がよさを見付け、価値付けて賞賛したり互いに認め合ったりする場面を設定し、本人自身が自分のよさに気付くことができるようにします。また、自己調整力の向上について、課題解決に向かって、自分なりに様々な工夫をする場面や自らの学習状況を把握し、学習の進め方を思考錯誤する態度を育成していきます。

きれいな里中で2学期を迎えられたことに感謝
7月26日、宮内建設様と野島電工様がボランティア活動の一環で、校内の木の伐採をしていただきました。忙しい仕事の中、里中のために作業をしていただき、風通しのよい校庭になりました。

また、8月31日は、準会員様、保護者、生徒たちなど多くの方々に御参加していただきPTA奉仕作業が行われました。台風通過後の枝葉の除去、樹木の伐採や剪定など、普段の作業で行き届かないところまで丁寧に作業していただきました。宮内建設様、昌和建設様、三友建設様、野島電工様よりトラック等を提供していただいたことに感謝します。2学期をきれいな学校で、気持ちよく迎えました。



おめでとう
薩摩川内子供大綱引応援
旗デザインコンテスト
2年生
3年 大井奏芽、是枝彩葉
最優秀大綱大賞



10月の行事

- ～3日(木) 修学旅行
- 4日(金) 修学旅行休養措置日
- 8日(火) 川薩地区新人体育大会～9日
- 11日(金) 市トピックトークコンテスト
部活動秋冬時間終了時刻17:30
- 22日(火) マルチはがし・芋堀り
- 24日(木) 中間テスト～25日
- 28日(月) 英語IBA
- 30日(水) スクールカウンセラー松尾先生来校